

充実した研修プログラムで 知識を日々アップデート

河合 駿 Shun Kawai

国税調査官

平成28年採用

調査部 調査審理課 審理第一係

Q. 実際に働いて気付いた国税職員の魅力は？

税は幅広い経済活動に関わることから、今まで知らなかった事柄に触れる機会が多く、仕事をするに当たりさまざまな知識を習得することができます。また、税法・会計の研修のみならず、ITに関するものまで数多くの研修が受講可能なことから、自身の知識を日々アップデートできるのもこの仕事の魅力です。

税法は「一読難解、二読誤解、三読不可解」といわれるほど読解が困難ですが、その税法を正確に解釈し、調査で把握した事実が法律要件に当てはまるか否かの相談や法人からの質疑を解決に導いたときには、達成感を感じます。



Q. 現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

資本金1億円以上の大規模な法人に対する税務調査を行う調査部に所属する調査審理課の職員として、法人の申告書の記載内容に誤りがないかの確認、調査担当部署からの税法解釈等の相談対応、法人や関与税理士からの質疑応答、また不服申立関係事案への対応等を行っています。

職場は、困ったことがあれば同僚や上司にすぐに相談できる風通しの良い雰囲気のため、一人で考え込まずに仕事を進めることができます。また、仕事が集中した際には自分一人だけでなく、課内全体で対応するという考えの下で仕事の分担を見直してもらうなど、同僚や上司にサポートしてもらえる体制が整っています。



Q. 仕事で意識していることは？

人の話を聞くことを意識しています。会話をしている相手が何を伝えたいのか、どんなことを考えているのかをできる限り正確に把握できるように努めています。また、周りの人が話していることにも意識を向け、些細な情報でも収集することで状況を知り、自分が役に立てることはないかを常に考えるようにしています。



メッセージ Message

調査部では全国に拠点を持つ大企業が調査の対象なので、各現場を確認しながら、法律・会計などの知識を駆使して仕事を行います。調査での相手の説得には困難が伴うシーンもありますが、その分やりがいや達成感を感じられる職場だと思います。税のスペシャリストを目指して一緒に働きませんか。